

今号の主な内容

- 2面 寄稿 発効する核兵器禁止条約
- 3面 女性国際戦犯法廷20周年
- 4面 育鵬社教科書の採択が激減
- 5面 論考 ベーシックインカムを考える(第2回)
- 6面 新連載 トガシさんの沖縄便り①

未来

THE FUTURE

●第1・3木曜日発行 1部200円(本体182円)

●発行所 『未来』編集委員会

〒577-0023 大阪府東大阪市荒本2丁目14-5

●発行人 山本 康

●定期購読 購読料(送料別)

1月 400円(送料188円)

半年 2,400円(送料1,128円)

1年 4,800円(送料2,256円)

東京高裁

農地取り上げの不当判決

市東孝雄さん「天神峰で耕し続ける」

12月17日、市東孝雄さん(成田市天神峰)の農地取り上げの強制執行の停止を求める請求異議裁判・控訴審の判決で、東京高裁・菅野裁判長は「控訴棄却」「仮執行許可」(判決確定前の執行が可能)などを言いわたした。

これは市東さんと弁護団の訴えを全面的に退ける不当判決であり、反動判決である。断じて認めることはできない。市東さんと弁護団は直ちに上告を執行停止を求める手続きに入った。

12月21日、千葉地裁は、仮執行について担保保証金100万円で来年3月までの暫定的な執行停止を決定した。

集合。東京高裁と菅野裁判長にたいし、怒りのシュプレヒコールをあげた。

弁護団が上告と執行停止の手続きをおこなった。



「強制執行を許さない」判決に先立って、日比谷公園内で集会が開かれた(12月17日、都内)

「これで終わったわけではありませんし、耕作権裁判もありません。天神峰でこれからまだまだ耕していくという気持ちに変わりはありません。皆さんのご支援をよろしくお願いします」と、これまでどおり生活と農業と闘争を継続する決意を力強く語った。

さらに報告会にかけた葉山岳夫弁護団長らから判決文の要点についての批判がおこなわれ、弾劾声明を提出した。

判決文の最後には、「なお本件強制執行において、その時期、態様等について可能な限り当事者間で協議を



裁判終了後の判決報告集会(12月17日、京都市内)

この事件は、滋賀コンプライアンス事件、大阪ストライキ事件とならぶ象徴的な弾圧だった。2017年10月、加茂生コン(京都府木津川市)の日々雇労働者が関支部に加入し

12月17日、加茂生コン第一事件の判決が京都地裁(第三刑事・柴山智裁判長)であった。判決は安井執行委員にたいし懲役1年、吉田組合員にたいし懲役8月、それぞれ執行猶予3年というもの。傍

聴者から「憲法28条を知っているのか」「裁判官失格」などの弾劾が叩きつけられた。判決後の報告集会で森博行弁護士は「想定した中で最悪の判決」と怒りに震えて弾劾した。

組合活動を犯罪視

社は突然「11月末廃業」を通告するとともに、組合員の子どもが保育所に入所するための就業証明書の発効を拒否した。組合は「廃業」は組合つぶしを目的とした偽装の疑いがあるとして、12月から監視活動を続けた。京都地検はこれらが「脅迫」

府労委では勝利

この件は大府労働委員会が会社の不当労働行為を認定し、

21年元旦闘争から運動のさらなる強化を

(森川数馬 12月24日)

加茂生コン第1事件で判決 就労証明の要求が犯罪に

12月17日 京都地裁

働行為を認定して、19年12月に勝利命令を出している。誰が見ても「無罪判決」かありえない。裁判だった。ところが京都地裁は権力の組合弾圧に迎合する犯罪的な判決を下したのだ。一方で、「正社員化」や「一時金の要求は脅迫には当たらない」とされ、武建一委員長と湯川祐司副委員長の「共謀」は無罪とされた。

判決では、市役所に保育入所の申告書を出した11月28日以降に、10分間、就業証明書を要求したことや、10人で偽装廃業の監視活動をしたことが「社会的相会的相当性」と判決はいうが、ここで問われているのは従属的位置にある労働者と使用者の争いであり、市民法の論理を適用するのは「ちがいに」と強く弾劾した。被告とされた組合員らは「社長夫妻は極悪、これが許されるのか」「裁判長はまち

あれば菅野裁判長は、なぜ成田空港会社の強制執行の権利濫用を戒め、強制執行の停止を決定しなかったのか、なぜ仮執行決定まで付けたのか。判決文は矛盾だらけであり、誰が読んで理解不能だ。

東京高裁へデモ

判決に先立って、日比谷公園霞門前で打ち合わせ集会がおこなわれた。あいさつに立った反対同盟の萩原富夫



サンケン電気本社に向けてデモ(12月20日、埼玉県新座市)

廃業・全員解雇をやめろ サンケン電気本社に抗議

今年1月に組合つぶしのために廃業・全員解雇を強行しようとしている韓国サンケンの親会社、サンケン電気本社(埼玉県新座市)にたいする抗議デモ(写真上)が昨年12月20日おこなわれた。市内で開かれた集会では韓国サンケン労組のキム・ウニョンさんが「日本の労働者の連帯に呼んで、工場復帰を勝ちとる」とスマートフォンを通して発言した。

女性国際戦犯法廷20周年

「法廷」が切り開いたもの

いま問われていること

水島良

12月12日、女性国際戦犯法廷20周年・オンライン国際シンポジウムが開催された。日本、韓国の3団体を中心になって準備された。参加者は国境を超え、開会にあたって、世界中の性暴力被害者への黙とうがささげられた。その後、2000年女性国際戦犯法廷(以下「法廷」)ドキュメンタリーのダイジェストを上映。第一部は三つの講演と当時の関係者からのメッセージ(「法廷」の中心だった故松井やよりさんの姿も)。第二部は、日本軍「慰安婦」・戦時性暴力サバイバー21人の証言映像(60分)が上映され、「次世代からの提言」未来へつなぐ」をテーマにアジア各地と日本の若者たちが活動報告と展望を語りあった。

不正義を公然と批判 することが連帯の道

基調講演の「法廷」

主席検事のドルコボルさん(オーストリア)は、「法廷」を振り返りながら「慰安婦」問題解決の運動がアジアの女性たちの草の根運動(被害者たちの声を記録する運動)が、被害者の勇気ある決起を呼び起こし、アジアから世界にひろがっていった。現在の#MeTooやブラック・ライブズ・マターも、有色人種やマイノリティーの人権のための、草の根運動から始まったと高く評価した。

「植民地主義支配」 告発の契機

国際司法は長く女性を裏切ってきたが、「国際法」をジェンダーの視点から見直し、民衆の手に取り戻したのが「法廷」であったと指摘。判決のポイント、加害者個人の責任

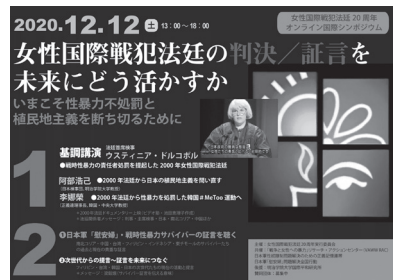
運動の終わりは世界が変わるとき

3番目は正義連理事

長・李娜榮さん。韓国中央大学の女性学研究者だ。「法廷」から性暴力を処罰した韓国#MeToo運動へ」をテーマに韓国の女性運動と現状を語った。

韓国では70年代〜80年代、女性たちのたたかいで「女性への暴力や抑圧」を禁止する法制度が生み出され、「慰安婦」問題もその流れの中で女性運動の一つの柱になっていった。00年以後、女性の社会的進出を背景にそれはさらに進み、性売買問題も社会的な問題となり市民運動的な課題ともなってきた。一方で「バックラッシュ」とのせめぎ合いも激しくなった(20年の正義連攻撃もその流れである)。

2番目の講演は「法廷」の日本検事団のひとりの明治学院大学の阿部浩巳さん。阿部さんは「法廷」



希望に満ちた場」の象徴となった。李娜榮さんは、「被害者中心のアプローチ」「戦時性暴力の根絶」の原点を踏まえ、若い女性たちの問題意識を反映しながら、30年を迎えた運動をこれからも進めていく決意を述べた。そして「この運動の終わりの日は、地球上の多くの人々が安全で平和な世の中で平等に生きることができるようになるだろう」と結んだ。

今、多くの10〜20代の女性たちが「慰安婦」運動に参加している。特に若い世代の女性性、セクハラ、パワハラ、経済格差、失業、性暴力に直面している。16年に起きた地下鉄江南駅殺人事件は女性嫌悪(ミソジニー)犯罪といわれ、彼女たちの不安や怒りを爆発させた。ソウルでは1万2000人の「性暴力根絶」デモがおこなわれた。#MeTooは「性の自己決定権」を含みながら、10代の中・高校生にも広がっている。「慰安婦」がすでに故人となつた。かつて接した言葉だがあらためて胸にささる。存命の方々が発する言葉はとも生々しい。多くの地域、国では公的な保障も少ない。コロナ禍で厳しい状況にあることも伝えられた。

最後に「次世代からの提言」未来につながる「羽ばたく黄色のナビ」は「明るく

この日のシンポジウムは、小休憩をはさんで5時間に及ぶ濃密なプログラムが組まれた。当日の資料は50ページ近くで、これもまた貴重な学習資料である。未筆ながら本シンポジウムを企画、準備、開催してください。主催者のみなさん、台湾、韓国、在日朝鮮人、日本人の若者たちが自分たちの活動を

関電は老朽原発を動かすな

福井県 美浜町申入れ抗議行動

12月9日 三度、関電包囲へ

「老朽原発動かすな!」リレーデモで美浜町内からJR美浜駅前まで行進、関電原子力事業本部包囲、申入れ行動をおこなった。午後1時にJR美浜駅前に集合し、美浜町内をデモした(写真左)。美浜町役場前では、アピール行動と美浜町長、議会への申入れがあった。原子力発電を推進する美浜町長、中島哲彦さんらがあいさつした。



消費地住民も当事者 中島哲彦さんは、フクシマ事故、大飯原発・大阪地

「この願い、きつと届く!」

狭山事件再審の実現を

一人でも多く、石川一雄さんとの出会いの場を設けようとして始まった「狭山事件の再審を」今年、57年の長きにわたる狭山再審闘争において、1974年寺尾判決に至る控訴審闘争以来の極めて重大な者協議の報告によると、山場となります。

狭山事件の再審を実現しよう
市民のつどいin関西
と き: 1月31日(日) 午後1時開会
ところ: 大阪市北区民センターホール
(JR環状線「天満」、地下鉄堺筋線「扇町」下車すぐ)
発 言: 石川一雄さん・石川早智子さん・袴田巖さん・袴田ひで子さん・青木恵子さんほか
主 催: 市民のつどい関西実行委
参加には予約が必要。申し込みは
savamakansai.com
電話 090-0366248-270
FAX 078-5766095

〈論考〉ベーシックインカムを考える (第2回) 深田京一

資本主義は不平等に満ちている

今回は、竹中平蔵の「月7万円のベーシックインカム」が、結局のところ人びとに「自助」を強制するものであることを明らかにした。そこで今回は、ベーシックインカムの定義、特徴、そのメリット、そして無条件給付が正当化されるのかを考えてみたい。

ベーシックインカムとは

定義

最初にベーシックインカムが今日、どのように定義されているのかを確認しておきたい。参考にするのは山森亮『ベーシックインカム入門』（光文社新書）である。

一般的に次の3つの条件を満たすものがベーシックインカムと呼ばれる。

第一に、無条件給付であること。個人にたいして、その人がどのような状況におかれて

特徴

次に、ベーシックインカムがどのような特徴を持っているのかを見てみよう。

無条件給付は正当化されるか

リアルリバタリアン

以上のようなメリッ トを列挙されたとして、ヴァン・パリスの主張を検討してみたい。

英国のジョンソン首相は昨年3月18日、ベーシックインカムの一時的実施を検討する考えを示した。

ベーシックインカムは、サーヒスやクーポンなどの現物ではなく、現金で給付される。だから差し引かれるが、ベーシックインカムの場合は収入がいくらあっても給付額に変更はない。

前号で紹介した竹中

なわれる。これが「貧困のわな」「失業のわな」「福祉のわな」と呼ばれるものだ。ベーシックインカムは、所得はそのまま給付額に上乗せされるため、「貧困のわな」を回避することができる。

また低賃金でも有用な労働への就労を促す効果もある。それとは逆に、低賃金で劣悪な労働条件の仕事につく必要が少なくなる。

個人にたいして給付されるため、家事や子育てなどの仕事に報いることができる。こどもも支給対象なので、「こどもの貧困」の解消に寄与することができる。

これ以外にも、税負担の公平性が保たれる。AI化などのデジタル経済の変化に対応できる。生涯教育や職業訓練などが容易になるなどメリットがあげられる。

生活保護などの一般的な公的扶助の場合、所得が増えれば給付の権利を失うため、労働への動機づけが損なわれる。

「任命拒否」の本当の理由

伊藤公雄さん 「安倍・菅のクーデターだ」

昨年12月6日、伊藤公雄さん(京都大学名誉教授)の講演会がPLP会館(大阪市北区)で開かれ、55人が参加した。主催は実行委員会。伊藤さんは、日本学術会議新会任命拒否に至る安倍と菅のクーデター政治と、これに対抗するケアの精神とデモクラシーの再生について語られた。学術会議問題について踏み込んだ話となった。(以下、講演要旨/文責・見出しとも本紙編集委員会)

政府が変えた選出法

先進国ではどこでも科学アカデミーと言われる科学者の政府から独立した科学者の組織を国がつくっている。日本では、明治政府が1879年に東京学士院をつくったのが始まりだ。その後、戦争への反省に踏まえて

1949年、日本学術会議をつくった。会員の選び方は一貫して学士による選挙だったが、政府が自分の都合で変えてきた。今度は何も気に入らないと、「任命拒否」をやらせた。政府による学術活動の自由な社会を築き、その中で83年に学会による推薦に変わらせた。3人は、民科

多様性ゆえにより多くの収入を得る機会が正当化されるなら、障がいがあるという多様性(「非優越的多様性」)のために、他の人が有している収入を得る機会に恵まれない人が、より多くのベーシックインカムを受けられるべきだ、という考えである。これは「正ギフトの公正分配」

パリスは、現代の社会経済システムを「一つの巨大なギフト(贈与)装置」と捉えている。これは「正義は高度に分業体制が発達しているため、とくに先進国においては社会的協業関係に依存しない生産はほとんど存在しない。だからパリスは、「われわれが受け取るギフトの大部分は、われわれが遂行するジョブ(仕事)にたいする報酬の一部として、非常に不公平に分配されている」ことになる。

この事実がパリスの信念を形成している。すなわち「資本主義社会は受け入れがたい不平等に満ちている」という信念である。(つづく)

「任命拒否」の本当の理由は、安倍・菅のクーデターだ。伊藤さんは、日本学術会議新会任命拒否に至る安倍と菅のクーデター政治と、これに対抗するケアの精神とデモクラシーの再生について語られた。学術会議問題について踏み込んだ話となった。(以下、講演要旨/文責・見出しとも本紙編集委員会)

権力の暴走を止める

安倍が国会で、「自らは立法院の長だ」と発言したとき、多くの人は安倍の「無知」だと思っていた。しかし、そうではないようだ。実は、JR東海の葛西敬之(現・名誉会長、国鉄分割民営化をめぐる「改革三人組」の一

予算10億円というけれど、210人の会員と2000人の連携会員にたいする会議の交通費も、年度末が近づくと予算不足で自腹で、一議員内閣制の総理大臣は、アメリカの大統領よりもオールドファッショナブルである。建前は277億円、イギリスは134億円、中国は1兆円。今回の日本は1兆円。今回の日本政府による学術会議人事への介入は、国際的にも科学アカデミーから懸念表明が出されるだろう。

